

技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター（LIBTEC）の概要

設立年月日：平成22年4月2日

理事長：吉野彰（旭化成(株)顧問）

組合員：旭化成(株)、(株)クラレ、(国法)産業技術総合研究所、J S R (株)、J N C (株)、信越化学工業(株)、住友ベークライト(株)、大日本印刷(株)、東レ(株)、凸版印刷(株)、(株)日本触媒、日立化成(株)、富士フイルム(株)、三井化学(株)、三菱化学(株)、三井金属鉱業(株)、日産化学工業(株)（16企業1国法）

事業費：平成28年度5.7億円

事業の概要：リチウムイオン電池等蓄電池材料の評価研究

○組合設立の目的

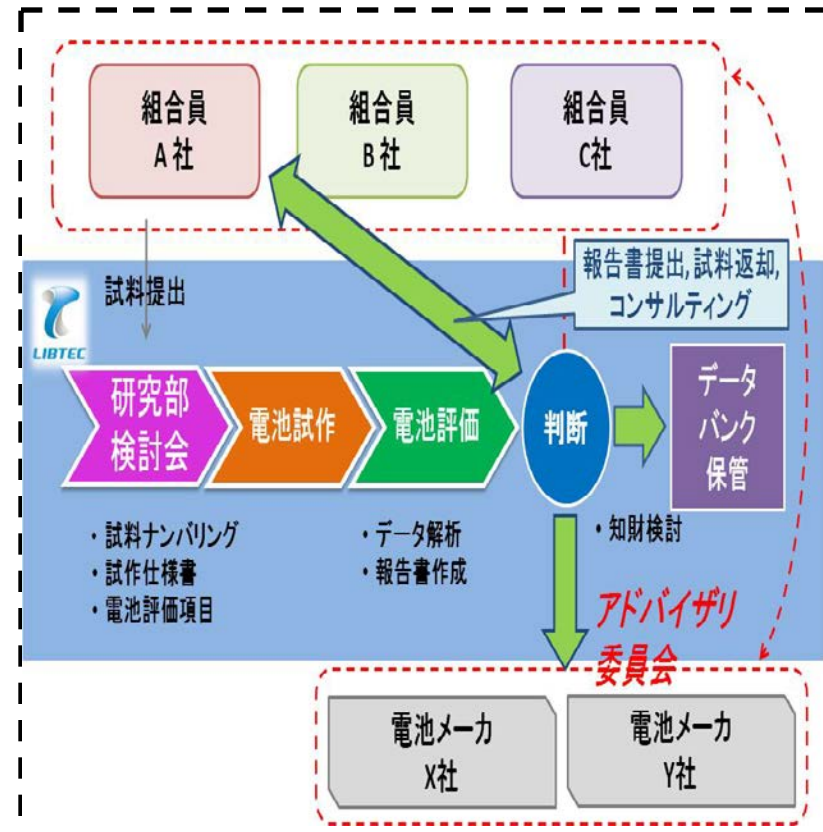
- ・ 共通的な標準評価手法を開発し、新材料の評価・開発サイクルを加速
- ・ 評価結果のフィードバックおよびコンサルティングによる高性能材料の提案
- ・ E V 用等先進・革新蓄電池系の新材料にも展開

○実用化の方向性

- ・ 電池メーカー等から構成されたアドバイザーリー委員会に、高性能材料を提案（採用支援）
- ・ 複数以上の材料メーカー等のコラボレーションによる高性能化

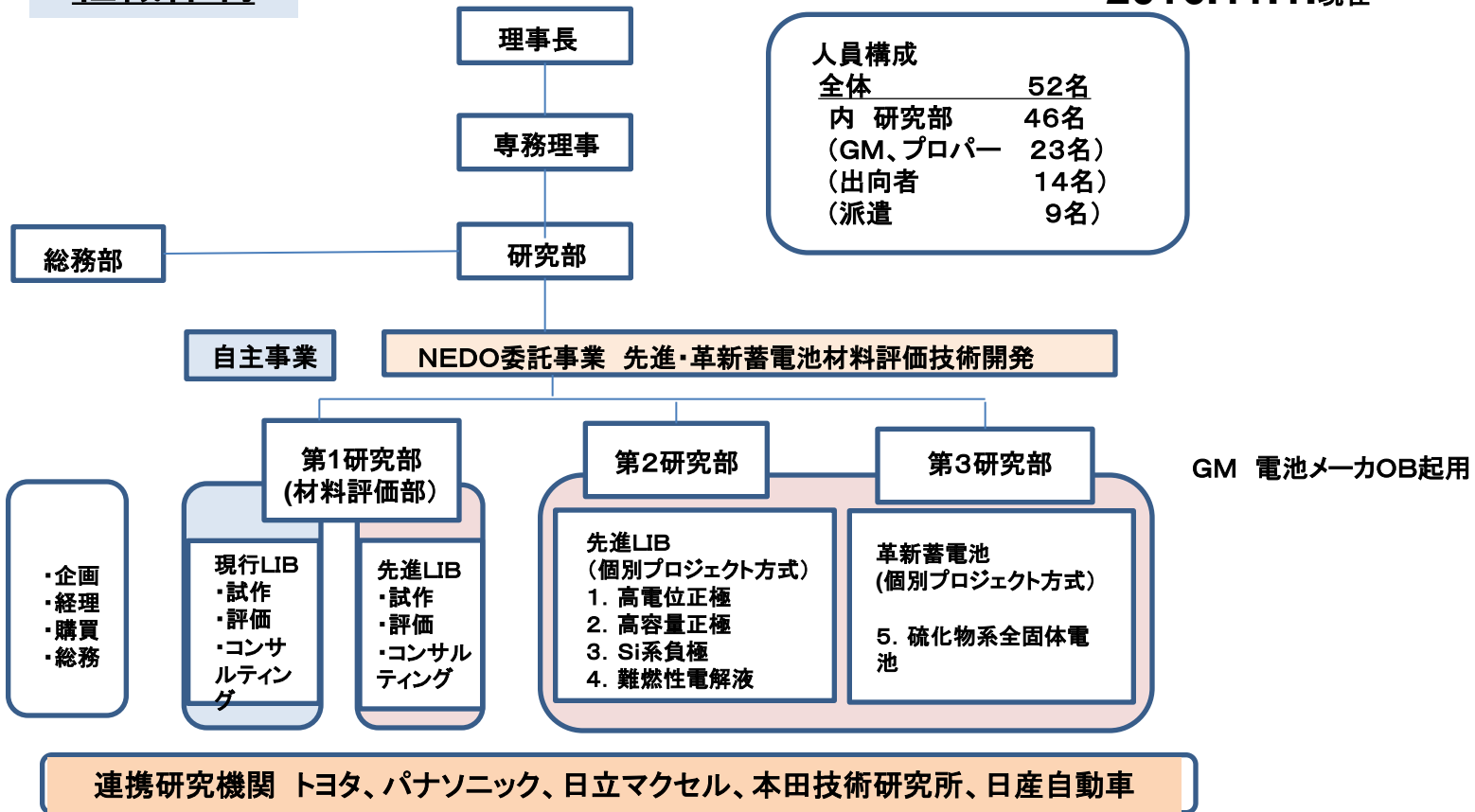
○事業化の目途の時期

- ・ 各組合員が順次LIBTEC新材料を事業化
- ・ 組合としては助成事業終了後の平成27年度から、自主事業として材料評価事業を継続中



組織体制

2016.11.1.現在



第1・第2アドバイザー委員会